

# 特 記 仕 様 書

## 第1条 適用

本特記仕様書は、南アルプス市が発注する市内区画線修繕工事（北部）（以下「本工事」という。）に適用するものであり、本特記仕様書に明記なき一般事項は、山梨県制定土木工事標準仕様書による。

## 第2条 作業時間

本工事の作業時間は、下記のとおりとする。

時間帯   ：   作業開始       8時00分  
              作業終了     17時00分

時 期   ：   契約工期期間中

なお、やむを得ない事情により作業時間帯を変更する場合は、監督員と協議の上決定する。また、決められた作業時間を厳守し、それ以外の時間帯での作業は行わないよう徹底する。

## 第3条 工 期

この工事の工期は、雨天・休日等を見込み、設計図書のとおりとする。なお、休日には、日曜日・祝日および夏季休暇・年末年始休暇のほか、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

## 第4条 工事中仮設の確保

工事中の仮設に必要な借地等については、請負者の責任（負担）により確保すること。また、仮設は、設計図書に基づき施工するものとするが、現場の状況を充分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、請負者において検討の上、設計図書によりがたい場合は監督員と協議するものとする。

## 第5条 交通及び保安上の措置

### 1. 一般事項

- ① 工事を行う場合は、所轄警察署・道路管理者との協議に基づき必要な道路標識の設置、交通整理員の配置を行うほか工事の起終点に必要な標示板を設置する。
  - 1) 交通誘導の時間帯     9：00～17：00実労8時間（交替要員あり）
  - 2) 交 通 誘 導 期 間     現道上で作業する期間であって概ね6日間、3人配置を見込んでいる。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとする。
- ② 夜間作業又は昼夜間作業を行うときは、通行者に工事区間及び通行制限状況が明確に確認できるように必要な処置をとる。
- ③ 一般車両の進入を防ぐ必要のある場合は、両面にバリケードを設置し交通に対する危険の程度に応じて、赤ランプ・標柱等を用いて現場を囲む。

- ④ 工事現場における標示板及び防護施設は、堅固な構造とし所定の位置に整然と設置し、修繕・塗装・清掃等の維持を常時行うほか、夜間において遠方から確認し得るよう照明又は反射装置を施す。
- ⑤ 「片側交互通行」をして工事を行う場合は、通行を許す部分の路面は常に良好な状態に維持して交通に支障を与えてはならない。
- ⑥ 誘導員は言動を謹み、通行者に不信感を与えないよう努力する。

## 第6条 関係機関との調整

工事を実施するに当たり、あらかじめ所轄警察署などと協議を行い、工事に支障のないよう調整する。

## 第7条 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について工事着手後、原則として作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し、安全・訓練等を実施するものとする。

1. 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
2. 本工事内容等の周知徹底
3. 本工事安全施工技術指針等の周知徹底
4. 本工事における災害対策訓練
5. 本工事で予想される事故対策
6. その他、安全・訓練等として必要な事項

## 第8条 安全・訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況をビデオ等または工事報告（工事月報）に記録し工事完成時に書類と共に報告するものとする。なお、工事期間中であっても監督員が実施状況の確認を必要とする場合は、速やかに中間報告するものとする。

## 第9条 施工機械

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号 最終改正平成14年4月1日付国総施第255号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械、又は平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」における開発目標を満たすことが確認された排出ガス浄化装置を装着した建設機械（平成16年9月1日までに装着したものに限る。）を使用するものとする。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議の上設計変更するものとする。また、排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、施工現場において使用する機械の写真撮影を行い提出するものとする。なお、指定機械であることを識別するラベルが添付されているので、確認できるように撮影すること。

2. 工事において、「建設工事に伴う騒音対策技術指針」(S 5 1. 3. 2 建設省経機発第 5 4 号、建設大臣官房技術参事官から各地方建設局長あて 最終改正 S 6 2. 3. 3 0 建設省経機発第 5 8 号)に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図る場合は、「低騒音型・低振動型機械の指定に関する規程」(H 9. 7. 3 1 建設省告示第 1 5 3 6 号 最終改定 H 1 2. 1 2. 2

機 種	備 考
・バックホウ・ホイールローダ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式）・空気圧縮機（可搬式）・油圧ユニット（以下に示す基礎工事中用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン(エンジン出力 7.5kw 以上 260kw 以下)を搭載した建設機械。

- 2 建設省告示第 2 4 3 8 号)に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

また、施工現場において指定機械であることを識別するラベルが確認できるように、建設機械を写真撮影し、監督員に提出するものとする。

## 第 1 0 条 施工計画書の提出

「南アルプス市工事書類等の簡素化指針」に基づき、対象工事については、施工に先立ち詳細な施工計画書を作成し、監督員に提出し承認を得ること。なお、安全・訓練等の具体的な計画書も作成するものとする。

## 第 1 1 条 段階確認

段階確認にあたり、請負者は共通仕様書によるほか、下記によるものとする。

### 1) 段階確認の計画書作成

工事着手前において、段階確認事項を確認、整理する。なお、施工計画書作成時には、施工計画書に含めて提出しなければならない。

### 2) 社内検査の実施

段階確認を受ける前には必ず社内検査を実施し、設計図書どおりの施工がなされているか事前確認することとする。また、検査結果を整理し、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。

### 3) 段階確認時の注意事項

段階確認においては、検査（確認）部分の出来形が確認できる資料を事前に作成し、監督員に提出することとする。

### 4) その他

段階確認の計画書について、監督員の承諾を得た場合は、請負者の様式により管理できる。

## 第12条 下請体系図の作成及び提出

「山梨県暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請する場合には、金額・業務内容の如何にかかわらず、末端の業者まで反映させた、「下請体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。

また、提出した「下請体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員へ提出するものとする。

なお、提出は打合せ簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。

## 第13条 住民への周知徹底

工事施工に先立ち、地元自治会及び地元住民に対し、必要に応じてパンフレットの配布、工事看板の設置等により、周知活動を徹底すること。

## 第14条 創意工夫・工事特性・社会性等実施状況

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出できる。

## 第15条 完成書類等

完成書類については、南アルプス市工事（委託）書類簡素化一覧表に基づき作成するものとする。

2. 提出書類のうち、工事写真については電子納品とする。詳細については、工事写真の電子納品要領によるものとする。

## 第16条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付するように努めなければならない。

## 第17条 週休2日適用工事について

本工事は、週休2日適用工事として、通期の週休2日制（補正なし）を見込んでいる。

取り扱いについては最新版の「南アルプス市週休2日工事実施要領」による。

週休2日は、通期の週休2日または月単位の週休2日により取り組むこととし、工事打合せ簿により提出すること。

## 第18条 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知

落札者は、建設業法（昭和24年法律第100号）第20条の2第2項の規定に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定から請負契約を締結するまでに、契約担当等に対して、その旨を当該事象の状況の把握のため必要な情報と併せて通知すること。

## 第19条 その他

この特記仕様書に記載無き事項および疑義が生じた場合には、監督員と協議するものとする。  
本業務は、ウィークリースタンスの対象業務である。業務の実施にあたっては、「南アルプス市  
ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受注者相互に協力し、取り組むものとする。

その他特記仕様書によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。